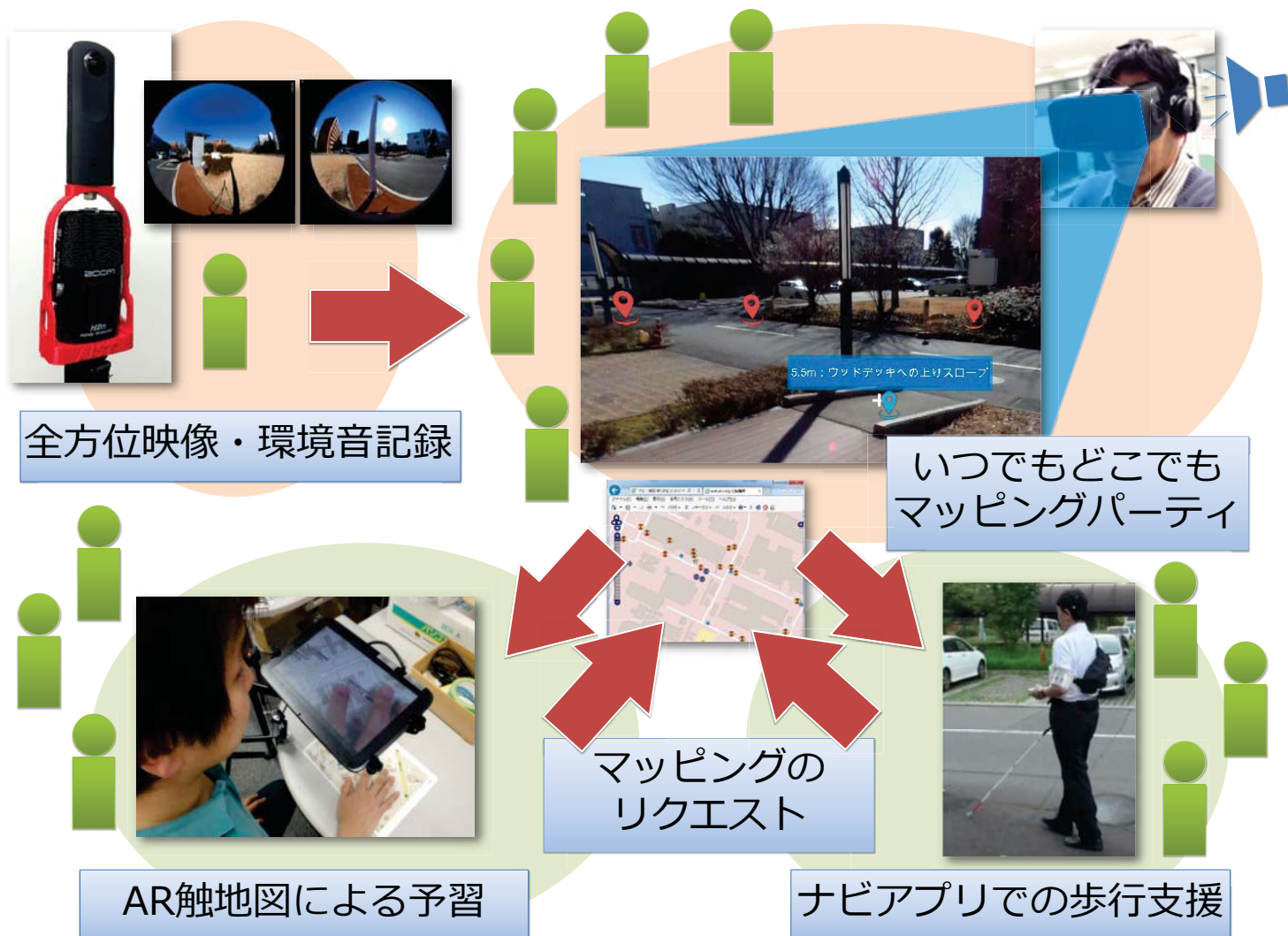


ともにつくる サイセンタン！ 「部屋にしながらマッピングパーティ ～視覚障害者移動支援システムの開発～」

位置を知る手掛かりになる情報（POI）や、安全な歩行の手助けになる情報（POR）を収集・共有・利用することで、視覚障害者がより自律的に外出することができるようになります。

「マッピングパーティ」という現地に出向いてPOI/PORを収集するイベントが全国各地で開催されています。マッピングパーティをバーチャルに実現できれば、みんながもっと気軽に参加しやすくなります。マッピング作業を体験したり、収集した情報を触れる地図（触地図）などで視聴したりして、その必要性や課題を感じてみましょう。



AR: Augmented Reality (拡張現実)、POI: Point Of Interest (ランドマーク、店舗や施設等)

POR: Point Of Reference (主に視覚以外の感覚で認識可能な、現在位置の手掛かりになる参照情報。点字ブロック、段差、自動ドア等)